

いつでも気軽に参加できる 組織をめざして

愛宕小学校 おやじの会

1 学校地域の概要

(1) 学校名 及び 所在地

- ・ 学校名 岩国市立愛宕小学校
- ・ 所在地 岩国市尾津町1丁目1番11号

(2) 校区の様子

岩国市の中心を貫流する錦川は、河口近くで東に今津川、西に門前川に分かれ、間に三角州の川下地区を形成している。

愛宕小学校区は門前川の右側に位置しており、北には愛宕山を背負い、南には広大な干拓地（蓮田）が開けている。西は平田、灘小学校区に接する。校区の中央を東西に188号線が、山陽本線と並行して走っている。

戦前は、純然たる農村であったが、昭和30年代後半の経済成長と共に住宅が増え、愛宕山南斜面及び東斜面はほとんど住宅地となった。これに伴い、学校の児童数も激増したが、現在600人前後で推移している。

また、愛宕山造成もほぼ完成し、愛宕町が新たにでき、今後人口の増加も予想される。

- ・ 愛宕地区の面積 5.35 km²
- ・ 人口並びに世帯数（12,622人 5,908世帯）

住民の気風は素朴で、学校に対しては伝統的に協力的である。しかし、近年他地域からの転入者が多くなり、価値観の多様性を反映し、まとまりを欠く面も見られるようになった。また、川ひとつを隔てて米軍基地があるため、騒音その他有形無形の影響を受けている。また、近年外国籍、混血の児童の占める割合も高くなっているが、差別的な様子は見られない。

- ・ 校地 15,914 m²
- ・ 運動場面積 7,748 m²
- ・ 児童一人あたりの面積 13.3 m²)

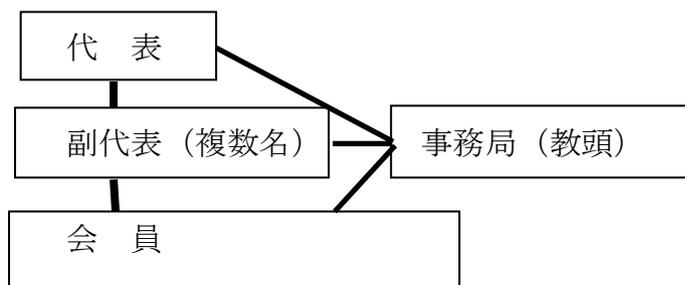
2 研究テーマについて

【研究テーマ】 いつでも気軽に参加できる組織をめざして

戦後70年が経過する中、男女の平等を支えるための法が整備され、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取組が行われている。しかしながら、PTA活動では活動の中心は母親であり、父親の参画は十分とは言えない。また、PTA活動の中でも、重量物の運搬や夜間の警備など、内容によっては女親よりも男親のほうが適している活動もある。

そこで、これらの課題を解決し、あわせて活動に対する垣根を低くして、誰もが気軽にPTA活動に参画して、子どもたちの育ちを見守る一翼を担うことができるよう本テーマを設定した。

3 愛宕小学校おやじの会の組織図・活動方針



【活動方針】

- ・PTA男性会員の積極的な活動の受け皿となる。
- ・できる人ができることを行う。
- ・作業やイベントなどで男性の力を必要とする活動に積極的に参加する。
- ・地域イベントへの参加、並びに支援

4 活動計画

- 5月31日 運動会前日準備(テント設営、遊具の異動等)
- 6月1日 運動会当日警備(駐輪場整備、校内巡回)
- 8月上旬 子ども会夏祭りでの警備
- 8月23日 ふれあいクリーン作戦(環境整備作業)
- 10～11月 おやじの会主催の球技大会の実施
- 12月2日 校内持久走大会警備
- 2月1日 日曜参観日バザー

5 活動内容

【4月16日】 会員募集開始

【5月15日】 第1回会議

議題

- ・ 防犯パトロールの当番確認
- ・ 年間の活動計画について（前述）
- ・ 運動会（6月1日開催）に関する役割分担等

【5月31日】 14時から運動会前日準備

- ・ テント設営の他、サッカーやバスケットボールのゴールの移動、防球ネットの巻き上げ、杭打ちなど主に力仕事を受け持って前日準備を行った。

【6月 1日】 運動会当日の会場警備

- ・ 6時過ぎに集合して、(観覧席の)場所取りの監視、運動会が始まってからは駐輪場の整備や校内巡回等を手分けして行い、警備に努めた。
- ・ 今年度はトラブルが激減して、違法駐車等の苦情電話も1本もなかった。

【8月 6日】 第2回会議

議題

- ・ 夏祭りの警備分担
- ・ ふれあいクリーン作戦の役割分担について

【8月 9日】 地区子ども会主催「あたご夏祭り」で警備担当

- ・ 川下中学校育友会補導部と連携して会場警備を担当した。

【8月23日】 ふれあいクリーン作戦

- ・ 溝蓋を全て外して側溝の砂の回収や樹木の剪定、ペンキ塗りなど事前に決められた分担に従って作業を行った。今年度は講堂(体育館)の耐震改修のためバスケットボールのゴールの移動も行った。



【10月27日】地域協育ネット主催 合同津波避難訓練

- ・これまで各校が単独で行っていた津波避難訓練を地域協育ネットの合同行事として行った。
- ・その際、地区内を高所に向けて安全に避難するため、急遽おやじの会で参加できる人が避難経路の警備を担当することになった。
- ・当日は川下中学校、愛宕小学校、川下保育園、常照保育園、自治会や保護者など総勢約1300人の参加を得る大訓練となった。

【11月11日】第3回会議

議題

- ・おやじの会主催球技大会について
- ・持久走大会コース警備について

【11月29日】おやじの会主催球技大会

- ・前日までの雨も無事に止み多少のぬかるみはあったが、おやじの会主催の「グラウンドゴルフ大会」を予定通り実施できた。



- ・当日は誰もが自由に参加できる「一般の部」だけでなく「おやじの部」を設けて、日頃はなかなか話す機会がない父親同士がしっかり交流し、親睦を深めることができた。

【12月 2日】校内持久走大会

- ・本校の4年生以上の持久走大会は、一般道を使って行われる。そこで、安全確保のためにおやじの会がコースの警備に当たっている。

【1月11日】とんど焼き前日準備

- ・地区子ども会の主催行事であるが、櫓やテントの設営を行った。
- ・消防団に所属している会員も多いので、警備・安全確保のために、翌日の「とんど焼き」にも積極的に参加した。



完成した「とんど」

【1月14日】2月1日（日）のバザーと31日（土）の前日準備について
議題

- ・当日までの準備物の確認と手配
- ・前日の準備の手順やバザー当日の役割分担
- ・おやじの会OBの参加について

【1月31日】前日準備

- ・毎年たくさんの野菜を提供して下さる地域の方々から、今年も大根やレンコンなどを提供していただいた。



- ・昨年は機械のトラブルで使えないものがあったので、今年は事前に機械を動かしてみたり、複数箇所から電源を取ることでブレーカーが落ちないように工夫したりして当日に備えた。



- ・会場の準備も終わり、後は当日の好天を祈るだけとなった。

【2月1日】日曜参観日・育友会バザー

- ・朝早くから「焼き鳥」や「フランクフルト」のための火おこし



- ・11時40分の回転と同時に長蛇の列



- ・「焼き物」だけでなく、うどんコーナーも応援



- ・2月1日当日は、好天に恵まれ盛況のうちにバザーを終了することができた。おやじの会は屋外で焼き鳥や綿菓子、ポップコーンの販売を行ったが、現役会員だけでなく、OBや教職員も参加して皆で協力して行事を盛り上げることができた。

6 成果と課題

今回、指定を受けたことで、これまでの活動について振り返る機会を得て、以下のような成果と課題を得ることができた。

<成果>

- 日頃PTA活動に参加することが少ない男親が活動の場所を得ることで、父親相互の連携を深めることができた。
- 警備、補導、力仕事などの活動を通して、男親の出番を増やし、自己有用感を高めることができた。
- 子ども会の手伝いや防犯パトロールへの参加を通して、地域との連携を深めることができた。
- 球技大会の企画・運営を通して父親だけでなく子どもたちやお母さん方の親睦を図ることができた。
- 現役会員だけでなく、OBの参加を得ることが何度もあり、年代を超えたつながりを深めることができた。

<課題>

- 会員は随時募集をしていたが、会員募集案内の配付が一度だけだったので、入会者が増えなかった。募集方法の工夫の必要性があった。
- ここ数年、校舎や講堂の耐震化工事で運動場が有効に使えなかったため、球技大会の企画・運営を充実させることができなかった。
- 近隣校区のPTAや社会教育団体と連携して、行事による交流を計画したが準備不足で実現することができなかった。

これからも「おやじの会」の活動が充実するように、今年是实现できずに課題として残ったことを実現できるように計画的な取組を心がけたい。また「おやじの会」が単独で活動するのではなく、母体である育友会や地域の団体と連携することで、愛宕小学校の子どもたちが心豊かに成長できるように支援していきたい。